

「あっこれならできる!」が、きっと見つかる。

ぬまづ第5回 エコ活動 コンテスト

2015
2/8日

沼津市民文化センター
小ホール



実施報告

沼津市生活環境部環境政策課

沼津市御幸町16番1号
電話:055-934-4741

【主 催】沼津市

【協 賛】沼津市商店街連盟 / 沼津中央商店街振興組合 / 沼津大平町商店街振興組合 / 南駿農業協同組合 / 東芝機械株式会社 / 花王株式会社 / 富士通株式会社沼津工場 / 静岡ガス株式会社東町支社 / 精松グループ

【後 援】静岡県 / 静岡県地球温暖化防止活動推進センター / 沼津市自治会連合会 / 沼津市私立幼稚園協会 / 沼津市保育園連盟 / 省エネ推進ネットワークぬまづ



ごあいさつ

沼津市長 栗原 裕康 審査員長 服部 乃利子 02
審査員のご紹介

コンテスト発表チームのご紹介

金 賞	グリーン×クリーン	03
銀 賞	浮きウキ子どもクラブ	04
銅 賞	美浜クラブ	05
審査員特別賞	コミねっと大平	06
入 賞	君葉町エコ子供会	07
	門池からの水路・川をきれいにする会	08
	西沢田 緑ヶ丘自治会	09
	片浜連合自治会	10

コンテスト応募チームのご紹介

エコワン総選挙！

エコワン賞	西沢田子供会	12
-------	--------	----

緑のカーテン写真コンクール

		13
--	--	----

開催レポート

		14
--	--	----

エコバトル開幕！?・だいすきなしぜん〜こども絵画展〜

		15
--	--	----

エコ展示会

		16
--	--	----

ごあいさつ

沼津市長



栗原 裕康

現在、地球温暖化防止のために世界的な取り組みが進められていますが、温暖化の主な原因とされるCO₂は、家庭から排出されるものが年々増える傾向にあります。

私は、市長就任当初から、無理をせず、身の丈に合ったエコ活動に取り組むことを市民の皆様と呼び掛けてまいりました。小さな活動でも、一人ひとりが実践し積み重ねることで地球環境に寄与するものと考えております。

本コンテストは、無理なく楽しみながら実践するエコ活動を広めるためのイベントとして、平成22年度から開催し、今回で5回目となりました。回を重ねるごとに応募チームが増え、今回は過去最多となる40チームのご応募をいただきました。また、応募チームの活動内容は、身の回りの省エネ活動から動植物の保護といった自然環境に関するものまで、多岐にわたっています。こうした状況から、市民の皆様の間で、エコ活動が少しずつ広がりをみせているものと感じております。

本コンテストで紹介されましたエコ活動の取り組みを、多くの皆様が参考にしていただき、ご自身の「身近なエコ活動」の実践につなげていただければ幸いです。今後も、「第4次沼津市総合計画」に掲げる「環境やさしく、安全・安心を実現できるまち」の実現に向けて、市民の皆様と力を合わせて進んでまいりたいと考えております。

審査員長



服部 乃利子

第5回ぬまづエコ活動コンテストの成功、おめでとうございます。

今年は、応募数がコンテスト開始以来最高数の40チーム、沼津のエコ活動の盛り上がりを実感しました。

特に最終発表に残った自治会、子供会の皆さんによる発表は、どれも工夫と情熱のこもった熱い内容でした。それぞれが地域らしい特徴のある取組でも、毎日の暮らしのエコ活動が結びついているからこそ継続出来るんだなぁと頷きました。何より、皆さんが楽しんで取り組んでいることが素晴らしいかったです！

また、応募された活動を来場者の皆さんに見ていただけるように展示紹介した事も、大きな喜ばれポイントになったと思います。

このエコ活動コンテストで紹介されたエコ活動の「輪」を、これからも沼津市全ての皆さんに広げて行ってください。

審査員のご紹介

静岡県地球温暖化防止活動推進センター セネラルマネージャー	服部 乃利子【審査員長】
静岡県くらし環境部 環境局 環境政策課長	織部 康宏
沼津市自治会連合会 会長	榊原 昭雄
省エネ推進ネットワークぬまづ 会長	佐竹 哲郎
沼津市副市長	井原 三千雄



グリーン×クリーン

「豊かな町 豊かな心をつくる豊町」



私たち「グリーン×クリーン」は、「自然に親しみ楽しめる活動」を心掛け、平成23年度から活動を開始しました。当時の5、6年生が、自分たちの住んでいる場所に近くには川があることに気づき、自分たちが大人になっても変わらない自然に逢いに来れるよう、守っていきたいと決めた「松沢川」を拠点に、周辺の環境保全を中心に活動を続けています。平成26年度は「身近なエコ活動を学び実践しよう」を目標に活動し「エコとは何？」を考える「子ども環境塾」や、古紙のリサイクルを学ぶ「エコジョイツアー」、節電や二酸化炭素の排出削減を目的として、自治会館を解放しての「クールシェア」を開催しました。6月に開催した「ホテルみよう会」は隣接する町内や金岡ホテル部会の方々に声をかけ、多くの人と関わりで観察することができました。7月には昨年に続き「水生生物観察会」を開催しましたが、今年度は川にすむ生き物を詳しく知ることと目的に、捕獲した生き物をまとめた、パンフレットリーフを作成しました。「ヤマアカガエル」など一部地域では絶滅危惧種とされているような貴重な生物がいることもわかり、このような貴重な環境を守るために、松沢川独自の生態系をむすぐ地域の生物の放流が無い事を願っています。これからも人々の心にエコの気持ちが芽生えたら、いつでも参加できる環境を作っていきたいと思っています。



浮きウキ子どもクラブ

「浮島はすばらしいⅡ
～浮島沼の魚たちの今～」

浮きウキ子どもクラブは、1996年に創立して、今年で19年目になります。現在は、小学生と幼稚園児をあわせ33人が活動し、自然観察や種体験を通して浮島の保全や環境について勉強しています。浮島には昔からメダカがいましたが、2年前からは見かけることがなくなり、特定外来種であるカダヤシばかりを見かけるようになりました。また、浮島沼は大雨のたびに沼川からの逆流により水没してしましますが、水没後に取り残される魚も、ヘラブナばかりになってしまいました。これは浮島にもともといない魚で、心無い誰かが持ち込んだために生態系が乱れてきたと考えられます。ブラックバスもものすごい勢いで増えており、ハヤやアナなどが食べられてしまいます。このような問題を目の当たりにして、浮島では魚の目線に立った川づくりを心掛けています。特にコミュニティ祭りなどでは、地域の人たちに魚にやさしい川づくりをお願いし、その甲斐もあり「すいどっか」という川を改修することができました。すいどっかが湧き水の清浄には、様々な人たちが協力して参加しています。すいどっかを始め湧き水の出るところにはホトケドジョウが生息していましたが、9年前からまったく見られなくなり、呼び戻そうと大勢の人たちが活動に参加してくれました。今後も、浮島沼にはいなくなった改良された鯉やヘラブナ、ブラックバスなどの放流をやめてもらって、昔から住んでいた魚たちをもっと大切にしていくことを発信していきたいと思っています。





美浜クラブ

「御浜岬の清掃、植栽、管理」



戸田は沼津市で一番長い海岸線をもち自然豊かな地域です。なかでも、砂浜の御浜岬は「ぬまづの宝」そして「戸田の宝」であり、訪れる人々を喜ばせています。しかし、そんな御浜岬も、台風が過ぎ去ったあとには、折れた木の枝、打ち上げられたゴミやペットボトルなどが漂着し、手の付けようのない状態になってしまいます。特に、発泡スチロールは岩に砕かれ粉々になり、あちこちにちらばって景観を悪くしています。多いときにはペットボトル1000本を拾ったこともありました。この現状をなんとか地元の方でよくしていきたいと、たった一人のボランティアで美化活動を始めたが、ひとりまた一人と仲間が増え、今では20人近くの仲間で活動をしています。年間100日以上のゴミ拾いや草むしり、草むしりを行っています。同時に、公園内にある約2400本もある市の花「ハマユウ」の害虫対策や、スイセン・あじさいの植付、慰霊塔周囲の彼岸花の育成にも力を入れています。また、戸田小学校の卒業記念にクロマツの苗を植える手助けをするなど、地域の皆さんとの連携も欠かせません。現在、ほとんどが70歳以上のメンバーによる取り組みですが、訪れた人たちがもっとも喜べる花いっぱい御浜公園をめざし、元気に活動していきたいと思っています。



コミねっと大平

「いざ節電!! 緑のカーテン普及活動に取り組んで1800日」



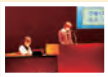
コミねっと大平は「大平コミュニティ推進委員会」に所属し、今から10年前に発足しました。「エコのまち沼津」の方向性が示されたことをきっかけに本格的な活動を始め、現在は23人のメンバーで、地域の人たちの協力を得て活動しています。緑のカーテンにより日中のエアコン使用を抑えることが、大きな効果を得られると意見がまとまり、普及活動をスタートして5年余りになります。並行して休耕田の活用や緑化推進、地域内の環境整備を中心としたエコ活動も進めてきました。土づくりから植付をはじめとした計画作りから、苗の無料配布を行い、大平地区での緑のカーテンコンクールを開催しました。また、休耕田畑を活用しての活動も行っており、4月の田おこしから始まり、初夏には薫草、夏はひまわり、秋はコスモスを咲かせます。JAとコラボしたフラワーロードは今年で3年目になり、1月下旬には雪を頂いた富士山を背に、菜の花が咲き誇ります。年間を通して行う取り組みは、自然相手に難しい場面もありますが、5年の歳月から得るものもたくさんありました。これからも、四季折々、変化のある光景を地域のみなさんを楽しんでもらえるよう、無理せず楽しく、そして協力して活動を続けるとともに、身近に取り組めるエコ活動として緑のカーテンの普及を継続していきます。





若葉町エコ子供会

「子どもといっしょにエコライフ!!」



若葉町は25年前に南沢田から若葉町に町名変更した、新しい町です。約530世帯1400名のうち、子供会は50名で金岡地区では比較的に子供の多い町内です。町内では自治会が協力して宮地の除草作業を実施し、きれいな町を進めています。なかなか解決できない問題がありました。以前は、ゴミステーションをネットで覆っていましたが、カラスがゴミを散らかしてしまい環境美化上問題でした。その後、収集容器を設置することでカラスの対策はできましたが、今度は大量のゴミを押し込むために容器が破損しました。この問題を解決するためには「ごみ減量」しかないと考え、具体的な活動をスタートしました。過去3年間は、ごみ減量と分別ルールを守ることを中心に実施してきましたが、今年度は子供会が中心となり、新たな活動をスタートしました。夏祭りや校区祭りの各コップの排出を抑制するためにマイボトル運動を展開し、これまで90Lのごみ袋で630L分排出されていたものが、270Lまで削減できました。また、子供たちにもっと身近にエコを感じてもらうため「若葉町エコチェックシート」を作成し、多くの世帯で取り組みました。光熱費やCO2排出の削減、エコ意識のアップはもちろん、各自が考えた独自のチェック項目はお手伝いの習慣にもつながりました。今後も、将来を支える子どもたちのため、環境の大切さとありがたさを学べる活動を続けていきたいと考えています。

門池からの水路・川を
きれいにする会

「河川周囲の草木伐採、汚泥処理」



門池地区は沼津市の北東部に位置しており、長泉町に隣接している地域です。門池は68,400㎡で、1周1.3キロあり、市民のウォーキングの場や桜の名所として親しまれています。近年は地区センターや公園の整備も進み、門池公園は市内の公園では御用邸に次ぐ2番目の広さとなっています。そのような中に、門池から流れる浪人川から分岐し、新幹線沿いを流れる水路があります。ここは、水の流れるも悪くゴミや藻が滞留するなどし、市の清掃だけではきれいな状況でした。この現状を改善し水路をきれいにしようと、近隣自治会のメンバーでこの会を発足させました。月1回の会合から始まり、河川清掃の事例として三島の源兵衛川の見学を実施したり、意識調査のためのアンケートを実施したりしました。平成25年に実施したアンケートでは95名からの回答をいただき、水路の環境美化の必要性、市や関係団体との協力の必要性について改めて感じるようになりました。その結果、門池牧場用水委員会への働きかけを行うこともでき、門池から水路への水量を少し増やすことができました。清掃においては自作の清掃用具も作成し、川に入らなくても作業できるようにするなど、小さな工夫を凝らしながら出来る範囲で改善と活動の拡大をしています。今後は、会の「ミッション」の明確化と具体的活動計画に力を入れ、幅広く地域の活性化に貢献できるような活動を続けていきたいと考えています。





西沢 緑ヶ丘自治会

「エコを身近に感じよう
～ひとりの百歩より百人の一步～」

緑ヶ丘自治会は金岡地区の北西部に位置し、70世帯、約200名の小さな自治会です。子供会のエコ活動は、町内清掃や市内一斉清掃などの環境美化活動やドウダンツツジの定植などの緑化推進活動を行っていましたが、子供連の人数も減り、子供連だけで出来る事も限られてきました。新たな取り組みを考えた時、エコ活動の啓発なら少人数でも出来るのではないかと考え、7月18日～7月31日の期間中「エコチャレンジDAY」を実施しました。沼津市が過去に行っていた「ふじのくにエコチャレンジDAY」を参考にし、自治会の皆さんが取り組みやすいような項目を選び実施しました。また、各家庭で実施可能な独自のテーマを設定し、27世帯の方が考えて実施しました。その結果、自治会の55%である38世帯の方々に協力してもらうことができました。中には「なるべく1つの部屋にみんなで行くようにして電気を使わないように心掛ける」などの独自の取り組みもあり、特別な事をしなくても、ライフスタイル1つ変えるだけでエコを実践できることを再認識できました。地球温暖化の進行は目に見えにくい、問題の深刻さをあまり理解されていませんが、環境問題を解決するためには、まずは一人でも多くの人にとって多くのエコを実践して頂くことが重要です。「ひとりの百歩より100人の一步」、今回のエコ活動を通してまさにこの言葉通りだと思います。同じ百歩ではありますが、次のステップが大きく違ってきます。私達一人ひとりがエコ意識を持ちそれぞれ出来る事をしたら、30年後の地球も変わってくるのではないのでしょうか。

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%

緑ヶ丘自治会エコチャレンジDAY結果	
項目	達成率
1. 家庭ゴミの分別収集	95%
2. 家庭ゴミの減量	80%
3. 家庭ゴミの燃費削減	90%
4. 家庭ゴミの燃費削減	90%
5. 家庭ゴミの燃費削減	90%



片浜連合自治会

「小さな紙も資源です」



片浜コミュニティは沼津駅と原駅に挟まれた東西に長い地域です。5自治会2800世帯で自治会活動を行っています。エコ活動への取り組みは過去4年にわたり、マイバッグ運動にも取り組んできましたが、昨年と今年は、小紙片の再生に力を入れ取り組んできました。6月から8月までの3か月にわたり、様々な小さな紙を回収するため、チラシの全戸配布や月初めの放送で各家庭へ呼びかけました。同時にチェックシートや、回収できる紙の種類を掲載したパンフレットを配布するなどして、回収率を高めるための様々な工夫を凝らし、3か月に1280キロを回収することができました。アイスクリームなどの紙パックも単に燃えるゴミにせず、切断したりつぶしたりして回収することで、資源を無駄なく再生することができます。金額への還元は微々たるものですが、何より住民全体が一丸となって1つのことに取り組むということが、継続の意識を高めていったものと考えています。地域への定着はなかなか難しいことですが、これから地域が少しでも住みやすく、きれいな町になっていくような運動を展開していきたいと考えています。





コンテスト応募チームのご紹介



今回は過去最多となる40チームの応募があり、書類審査の結果8チームがコンテスト会場のステージ上で発表に臨みました。他にも下記32チームはコンテスト出場とはなりませんが、どのチームも市内で身近なエコ活動に取り組みている家庭や地域、団体の皆様です。

また、32チーム中22チームは、「エコワン総選挙」に参加し、各チームの活動を横断紙にまとめて展示しました。

V to F 「電気自動車と家庭用システムによるエコライフ生活」 電化・エコ・自然・自然環境保護	沢田町自治会 「沢田町自治会エコ活動」 環境保護を推進しての交流
入浜自治会 「すずらん前灯LEDに交換した」 お祭りの一環(10月10日)に実施	江原町子供会 「みんなで作るエコライフ」 エコライフの実践、など
戸田家の会 「塩を煎して、海水を原料とする塩の製造」 戸田家の会	大林エコ活動チーム 「農産物野菜の収穫(秋しやがいもの収穫)」 町内で農園を作った取り組み
戸田幼稚園 「交通安全を調べた活動」 幼稚園小中から、多くの地域関係機関と交流して連携活動	ウィステリア沢田 「マシナエエコ活動」 集会所で緑のカーテン作り
環美・富士の山 「プラゴミを拾って川にゴミを捨てさせない」 川や海の清掃、ゴミ収集の防止活動	新沢田町自治会・子供会 「エコバックを作ったゴミを捨てる(10月3日)」 秋祭りでは回収
チーム 藤 「藤の葉を煮詰めてエコ」 自然を大切に育てるための各家庭での取り組み	東郷堂自治会 「緑のカーテンでエコライフ」 自治会館で緑のカーテン作り、花壇整備
東名町 「私たちのエコ活動」 清掃、お祭り、夏祭りのエコライフと各家庭での取り組み	金岡連合エコーリーダー 「エコライフ、金岡」 金岡連合会全体でのエコ活動推進、コミュニティ祭りの展示推進、など
北神明町 子ども会 「北神明町子ども会 エコ活動」 キャンプ活動、自然の保護	沼津市環境保全協会 (三社) 「沼津市環境保全協会」 エコ・フロンタ、児童館による清掃活動
神田町自治会 & 子ども会 「神田町エコ活動(エコ活動)をこころに」 地域行事を通してエコ活動の推進	M・M・S・M・K 「緑のカーテンでエコライフ」 自治会館で緑のカーテン作り、花壇整備
横河台子供会 「横河台をきれいにしよう(エコ活動)」 エコ活動の推進、など	第5南地区グリーン作戦隊 「山王公園の清掃活動」 市清掃部の協賛活動
西沢田子供会 「ホタルの飛ぶ町を目指して」 ホタル、タマシ、ホタルの保護活動	環美・富士の山2 「環美の山」 富士山、富士山の保護活動
松沢町 「松沢公園をきれいにしよう」 公園清掃、花壇整備	千本松原 「千本松原をきれいにしよう」 千本松原の清掃
長塚子供会 「エコ推進」 エコ活動の推進	あきな回廊 「あきな回廊」 エコ活動の推進
高尾台子供会 「緑のカーテン」 緑のカーテンの設置、エコ活動の推進	愛鷹地区コミュニティ推進委員会エコ推進部会 「愛鷹地区グリーンカーテン観覧会(10月3日)」 グリーンカーテンの観覧会、など
天神分属 「エコキャップ、グリーン・パートナー」 エコキャップとエコ活動の推進	沼津市消費者協会 「もったいない!」 食料品のロス削減、など
東沢田 子供会・自治会 「身近でできるエコ活動」 エコキャップ、エコ活動、など	中沢田子供会 「忘れずにエコ活動してリサイクル」 エコキャップ回収、など



エコワン総選挙!



それぞれのチームで行ったエコ活動を横断紙に展示し、来場者の投票によって総選挙第1位のチームを決定する「エコワン総選挙」を開催しました。第1位のチームには、「エコワン賞」が贈られました。



西沢田子供会 「ホタルの飛ぶ町を目指して」



西沢田子供会では、自治会、金岡ホタル館と協力して、ホタルの飛ぶ町にするために年間を通して環境美化の活動に力を入れています。これからも、自治会の方々と協力して西沢田の自然を守るための活動を続けていきます。

エコワン総選挙!
とは?

1. 各チームの活動写真やエコ活動の様子を横断紙に展示し、来場者の投票によって総選挙第1位のチームを決定する。

2. 来場者の投票によって総選挙第1位のチームを決定する。

3. 見事第1位に選ばれた「西沢田子供会」に「エコワン賞」が贈られました!

投票の場を設け、来場者の投票によって総選挙第1位のチームを決定する。

見事第1位に選ばれた「西沢田子供会」に「エコワン賞」が贈られました!

投票の場を設け、来場者の投票によって総選挙第1位のチームを決定する。

見事第1位に選ばれた「西沢田子供会」に「エコワン賞」が贈られました!

緑のカーテン写真コンクール

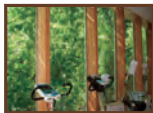
室内の温度の上昇を抑え、省エネルギーにつながる「緑のカーテン」づくりを推進するため、市内の家や事務所などで育てた「緑のカーテン」の写真を募集した「平成26年度沼津市緑のカーテン写真コンクール」において上位入賞された方々に、表彰を行いました。



根岸 公美子 さんの応募作品



下山 義昭 さんの応募作品



形尾記念堂友病院
井上園三 さんの応募作品



表彰式の様子



あけぼの保育園 さんの応募作品



2015年9月8日
In 沼津市民文化センター小ホール



開会



活動発表

市内でエコ活動を実施する
グループが自らの成果を発表



門油からの水路・川を
きれいにする会



浮きウキ子どもクラブ



美浜クラブ



若葉町エコ子供会



西沢田 緑ヶ丘自治会



片浜連合自治会



コミねっと大平



グリーン×グリーン



結果発表・表彰 銀賞
(エコ活動コンテスト)



結果発表・表彰 銅賞
(エコ活動コンテスト)



結果発表・表彰
(緑のカーテン)



沼津プロレス
「エコバトル開幕!」



結果発表・表彰 エコワゴン賞
(エコ活動コンテスト)



結果発表・表彰 審査員特別賞
(エコ活動コンテスト)



結果発表・表彰 金賞
(エコ活動コンテスト)



結果発表・表彰 入賞
(エコ活動コンテスト)



記念撮影!



市長挨拶



講評



小ホールステージにて、沼津プロレスによる「エコ/サル開幕！」を開催しました。レスラー達が会場を巻き込みつつ、それぞれの特徴を生かした小さなエコを紹介し、楽しみながらもエコについて学べるステージとなりました。



沼津市内の幼稚園・保育園に通うみなさんが

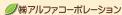
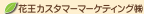
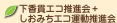
「だいすきなしぜん」をテーマに描いた絵画を展示しました。

18國593点の作品が集まり、展示室を中心に会場を彩りました。

大平幼稚園	光長寺幼稚園	永明保育園
金岡保育所	沼津あすなろ幼稚園	かぬき保育園
大岡保育所	片浜桜幼稚園	小百合保育園
沼津梅花幼稚園	浮島保育園	恵愛保育園
象山幼稚園	まいとろや保育園	かびらばす保育園
沼津学園第一幼稚園	あけぼの保育園	しんあい保育園



当日はコンテストに併せて、省エネ機器の紹介や温暖化防止、環境保全に取り組んでいる団体や企業などの活動を紹介する「エコ展示会」を開催しました。18のブース等が出展し、来場者は各ブースを回るスタンプラリーを楽しみながら、エコ活動への関心を深めていました。





リコージャパン㈱ 東静岡事業所



矢崎エナジーシステム㈱ 沼津製作所



榊松グループ



東京電力㈱ 三島支社



静岡ガス㈱ 東部支社



国産電機㈱



㈱明電舎 沼津事業所



富士通㈱ 沼津工場



静岡県地球温暖化防止活動
推進センター



沼津工業高等専門学校
地域共同テクノセンター



沼津市こみ対策推進課



沼津市環境政策課
省エネ推進ネットワークぬまづ

